

# せいじの

平成25年2月

141号

青磁野リハビリテーション病院  
 せいじの健診センター  
 介護老人保健施設 青翔苑  
 グループホーム あおばの家  
 地域介護相談センター けあまっぶ城西  
 訪問看護ステーション城西  
 せいじのヘルパーステーション  
 サービス付き高齢者向け住宅 ファインテラスせいじの  
 熊本市西2地域包括支援センター

## ご挨拶



医療法人金澤会  
 理事長 金澤 知徳

みなさん今年のお正月は如何でしたか。幸いにお天気も回復し、元日から初詣の列で大いに賑わったのではないのでしょうか。

私も有難いことに仕事から解放されてゆっくりできましたが、いよいよ三日目には「歩こう」と思い立ち、家内と二人で花岡山へ向かいました。時々花岡山へは訪問診察に車で行くのですが、今日は久しぶりの歩きなので、初めての道を探そうと足取りも軽く横手のバス通りを突っ切り、花岡山の北斜面を目指して路地を進みました。民家の背には大小の防空壕跡が残っており、それらを左に見ながら歩くと坂の麓にたどり着きました。やった、近道の発見だよと家内に自慢して坂道を登ると、下馬天神から上がってきた車道に出たのです。確かこの辺りに進駐軍の住宅があったと思いましたが、今までこの道には気が付きませんでした。

更にカーブして道なりに登って行くと、北岡自然公園の一番奥（確か昔は出入口があった）その道標が目に入りました。左に「地獄坂」。清正公の築城の際に花岡山から切り出した石を運びおろした道で、人々が死にそうに狭くて急峻で「まるで地獄」と嘆いたそうです。右には「極楽坂」と命名に興味湧きました。

それから少し行くと薩摩軍の砲座跡、官軍墓地に出ました。よく見ると一角に「乃木希典の娘恒子の墓」とあり、乃木大將は熊本鎮台に赴任されていたのですね。お墓は少し荒れていましたが、手を合せ、また登り始めました。

私が通った五福小学校はすぐ傍にあり、花岡山にはよく登ったものです。しかし登った道も所どころ不確かな記憶であり、今回は何か新鮮な気持ちにさせてくれました。頂上に登る急な石段から見上げると、晴天の空に真っ白な仏舎利が輝いており、爽快な正月気分となりました。実は小さい頃、仏舎利塔のてっぺんに輝くものは大きいダイヤだよと皆で信じていたものです。

しばらく山頂からの眺めに魅入り、再び麓の北岡神社に向かって山を降り始めました。北岡神社に参拝した後に熊本駅に出て、第一環状線の市バスで段山まで戻り家まで歩き、スマホを見ると約1万4千歩でした。

世の中、政権が代わり、景気と財政に大きな期待が寄せられていますが、何か大勢で金を無心している風に見えてなりません。金は結果であり、働く楽しさ、やりがい、生きがい、有難さなど、生活の気持ちの「気」が景気となるのではないのでしょうか。その様な「気」を感じられる明日を期待したい。やはり自分自身の問題ですね。

皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



青磁野リハビリテーション病院  
 院長 金澤 親良

昨年末には、政権交代という今後の生活に大きな影響をもたらす出来事が起こりました。

特に医療介護の分野は政策によって大きく変化するため適切な対応が求められます。

これまでも地域に役立つ医療機関であることを意識してきましたが、その中でも急性期病院との連携医療や、自宅での生活を支える取り組みなどは、日本全国の医療介護分野でトップクラスの評価をいただいています。これらの取り組みはすべて私どもを利用していただいている皆様のご意見を具現化したものです。

これからも、皆様のご意見をさらに尊重し、医療、介護の充実に努めたいと思います。なにかお困りのことなどありましたら、いつでも気軽に相談いただくと幸いです。

例年になく寒い日々が続いております。お体を大切に過ごされてください。

# クローズアップ!

## ～青磁野リハビリテーション病院 総合連携室 編～

私たち総合連携室は院長を室長とし、入院窓口の前方連携担当4名（看護師3名・社会福祉士1名）、入院中およびその後の支援までの後方連携担当の社会福祉士（SW）6名の合計11名で仕事をしている部署です。



前方連携担当。毎日の入院事前訪問に使用する愛車の前で

前方連携では入院相談窓口として、国立病院機構熊本医療センターをはじめとする急性期病院や近隣病院からの患者さんのご紹介・相談を受けており、緊急の相談にも応じています。

病院の顔とも言える相談窓口として笑顔を決やさず、傾聴する姿勢で迅速に丁寧な対応を心がけています。また、担当のSWとの情報交換を行いながら入院前から入院中、退院、その後までの連携支援を円滑に進めることが出来るよう頑張っています。

後方連携担当のSWは、一人あたり20～50人の入院患者さんを担当しており、患者さんが治療・リハビリ終了後に安心して生活の場へ戻られるようなお手伝いや、入院中の不安・心配事に対する相談に応じています。

退院支援の中では、日々自宅訪問や施設見学へ同行し、最近は特に身寄り不在、退院先確保困難などの社会的問題を抱えた患者さんも急増したため、新たな居宅系施設の開拓、行政との交渉、地域包括支援センターとの連携にも力を入れているところです。



後方連携担当。Kビル2階、総合連携室事務所にて

まだまだ経験の浅いスタッフも多いですが、患者さん、ご家族の意向を大切にしながら支援ができるようこれからも日々研鑽を積んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## ボランティア活動がポイントに

### ～熊本市介護保険サポーター・ポイント制度のご紹介～

65歳以上の熊本市民の方が、ボランティア活動（サポーター活動）を通じて地域づくりに参加することで、自らの健康増進や生きがいづくりを図ることを目的とした制度です。

- ①熊本市社会福祉協議会が開催する研修会を受講し、ポイント手帳の交付を受ける
- ②市内の指定された受入機関（介護保険施設等）でボランティア活動をする
- ③施設にポイント手帳を提示し、1時間の活動で1スタンプ（1日2スタンプが上限）を押してもらう
- ④1スタンプあたり100ポイント（100円）とし、5000円を上限に換金することができます。

詳細は熊本市社会福祉協議会または熊本市役所高齢介護福祉課へお問い合わせください。

介護老人保健施設「青翔苑」はこの受入機関として熊本市の指定を受けています。

現在、デイサービスセンター青翔苑および通所リハビリにて活動していただいている方の声をご紹介します。



ボランティア  
荒木ノリエさん

ここはとても家庭的で、ご利用者の皆さんも職員さんも温かいです。いつもここに来るのを楽しみにしています。

ご利用者の皆さんも、荒木さんの活動日を楽しみにされています。

# 日本人の約3割が患者と推定！ 高血圧の正しい知識

## 高血圧とは？

高血圧(外来血圧140/90mmHg以上、家庭血圧135/85mmHg以上)は糖尿病、脂質異常症などとともに動脈硬化をきたす原因疾患のひとつです。

血圧が高いだけでは特別な症状はありませんが、これが長期にわたると血管壁は動脈硬化を起こし、ついには脳血管障害(脳出血、脳梗塞)、心臓血管障害(狭心症、心筋梗塞、心不全)、慢性腎臓病(腎不全)を引き起こし、取り返しのつかないこととなります。

患者は日本では約4000万人、50~60才以上の人では約2人に1人の割合です。

## 高血圧には2種類ある

高血圧には遺伝的素因に環境因子(塩分の過剰摂取、ストレス、肥満など)が加わって発症する「本態性高血圧」と、副腎腫瘍や腎動脈狭窄、腎機能低下などの病気により血圧が上昇する「二次性高血圧」があります。



青磁野リハビリテーション病院

内科 医師

岩岡 大輔 (いわおか たいすけ)

日本高血圧学会評議員・高血圧専門医

## 高血圧と薬

高血圧患者さんの90%以上は本態性高血圧で塩分制限や減量が必要ですが、これらはなかなか容易ではなく、また、それだけでは十分な降圧も得られません。多くの場合降圧薬の服用が必要になりますが、降圧薬は10種類もあり、誰にでもどの薬でも効果があるわけではありません。患者さん一人ひとり血圧が上昇するしくみは異なりますので、どの薬を最初に服用するかは当然異なります。また、そのしくみは患者さん一人に1つというわけでもありません。多くの場合2つあるいは3つの要素が重なり合っており、用いられる降圧薬も2~4種類になります。治療前に病因と病態を詳しく調べてから治療することが肝要です。

健診などで高血圧を指摘された場合は、是非受診してください。

# 地域連携ドクター紹介

## 医療法人聖粒会 慈恵病院 産婦人科部長 蓮田 健先生



私は、5歳の頃から高校時代まで島崎で育ちました。青磁野リハビリテーション病院の近くには、よく友達と自転車遊びに行っていた思い出があります。

平成14年より慈恵病院の産婦人科に勤務しております。金澤知徳先生、金澤親良先生には、有難いアドバイスをさせていただく大先輩として日頃より尊敬申し上げております。

産婦人科医として今後、病院のお役に立てればと願っております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## 診療科目

外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、内視鏡外科  
小児外科、内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科  
消化器内科、産婦人科、小児科、麻酔科

## 診療日・診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○		○	○

日祝休診

【午前】8:30~12:00

【午後】13:30~17:00

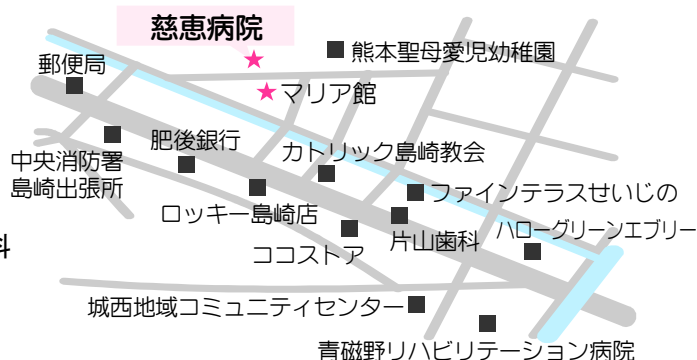
※婦人科疾患および妊娠初期で分娩予定日が

未定な方は19:00まで

※麻酔科は金曜日の午後(予約制)

## 所在地

熊本市西区島崎6-1-27 TEL 096-355-6131





# 外来診療担当表

平成25年1月～

★診療時間★

午前／9:00～12:00  
午後／14:00～17:00

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	石本	金澤知	竹内	森川
		石本	堀岡	岩本	岩岡	岩岡	—
	午後	釘宮	上野	金澤尚	岩本	安野	—
		釘宮	岩岡	堀岡	堀岡	高木	—
整形外科	午前	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	—
	午後	予約制					—

## 行事のご案内

- 2/15(金) 栄養教室
- 2/16(土) 城西3町内ふれあいいきいきサロン\*
- 2/17(日) 休日在宅当番医
- 2/26(火) 城西1町内ふれあい「お達者」サロン\*
- 2/27(水) 野中地区介護予防事業
- 3/9(土) 医療マネジメント学会熊本支部学術集会
- 3/15(金) 栄養教室
- 3/16(土) 青翔苑ご家族の集い
- 3/27(水) 野中地区介護予防事業\*
- 3月 ささえりあ井芹 地域運営協議会
- 3月 あおばの家 地域運営推進会議
- 第1月曜 古町校区介護予防事業\*
- 第1火曜 田崎ふれあい会\*
- 第2水曜 花園7町内ふれあいいきいきサロン\*
- 第2金曜 八島校区介護予防事業\*
- 第2土曜 ふくし相談会
- 第3月曜 健康・介護相談[エース花園店]
- 第3水曜 池田生き生き相談室
- 第4火曜 花園牧崎・垣内ふれあいいきいきサロン\*
- 第4水曜 花園柿原ふれあいいきいきサロン\*

\*は地域主体の行事に協力しているものです

### ●金澤会理念●

私たちは、社会から信頼され必要とされる医療と福祉の実現を目指します

### ●基本方針（3本柱）●

#### 1. 医療（メディカル・ケア）

内科・整形外科・リハビリテーション医療の病院として、質の高い医療サービスをご提供します

#### 2. 福祉（ソーシャル・ライフ・ケア）

施設内及び在宅の障害者、高齢者の生活の自立を支援すると共に、医療、福祉に関する様々なご相談にお応えします

#### 3. 健康（ヘルス・プロモーション）

人間ドック、健康診断、企業健診を通して、地域の皆様の健康づくりを支援します

### ●青磁野リハビリテーション病院 患者憲章●

患者様には次の権利があります。

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 医療に関する説明や情報を知る権利
3. 選択の自由と自己決定の権利
4. 個人の情報が守られる権利
5. 尊厳を守られる権利

## 金澤会のデータ

(平成24年度上期)

### 病院診療情報

- ・外来患者延数 19,214人(1日平均129.8人)
- ・延べ入院患者数 38,499人(1日平均210.4人)
- ・新入院患者数 378人
- ・退院患者数 378人
- ・平均在院日数

一般病棟 15日  
回復期リハビリテーション病棟 75日

### 訪問看護ステーション城西

- ・延べ訪問件数 1,964件

### 訪問リハビリテーション

- ・延べ訪問件数 2,113件

### せいじのヘルパーステーション

- ・延べ訪問回数 21,631件

### けあまっぶ城西

- ・延べ計画件数 2,522件

### 熊本市西2地域包括支援センター

- ・延べ計画件数 2,353件

### せいじのデイケアセンター

- ・延べ利用者数 5,700人(1日平均38.5人)

### 青翔苑(入所)

- ・延べ利用者数 9,283人(1日平均50.7人)

### 青翔苑(通所リハ)

- ・延べ利用者数 5,011人(1日平均32.1人)

### 青翔苑デイサービスセンター

- ・延べ利用者数 1,119人(1日平均7.2人)

### あおばの家(通所介護)

- ・延べ利用者数 303人(1日平均2.3人)

### デイサービスセンターファインテラス

- ・延べ利用者数 676人(1日平均5.2人)

### せいじの健診センター

- ・ドック(日帰り・宿泊) 118件

- ・健診 1,355件

### 金澤会職員総数(平成24年12月1日現在)

常勤職員 413人

パート職員 123人

合計 536人

せいじの141号 平成25年2月

発行●医療法人金澤会

発行人●金澤 知徳

編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課

〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15

TEL096-354-1731 FAX096-354-1736

http://www.seijino.or.jp/



平成23年12月更新